

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2015
June

No. 159

6



JA全農ぐんま

私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋 になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



市川市立歴史民俗資料館
臨江閣別館附棟札及び渡廊下

事業のうごき 6

営農総合支援センター

- 豪雪被害に係る野菜の生産支援
- JA-TAC活動及び担当者の育成支援
- 担い手対策のための取り組み
- 農産物の安全・安心対策のための取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進

米麦特産課

- こんにゃく荒粉・精粉出荷販売推進（入札の実施）

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売（周年）
- 共計チンゲンサイ販売（周年）
- 共計味にら販売（周年）
- 共計ブリックスナイン販売（6月末日迄）
- 共計生梅販売（6月末日迄）
- 共計赤じそ販売（7月上旬迄）
- 共計県統一規格きゅうり販売（7月末日迄）
- 共計バンドム販売（7月末日迄）
- 共計にがうり販売（9月末日迄）
- 共計県統一規格露地なす販売（11月末日迄）

販売促進課

- 春夏野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 雪害施設工程確認と進捗管理
- 雪害施設被害復旧業務全般
- 青果物用予冷庫推進（パナソニック）
- 夏用出荷資材予約・当用推進
（枝豆・みょうが・おくら・なす・ほうれん草等）
- AKライナー・ノンステーブル段ボールへの切替推進
- ハウス更新用資材戸別推進（農ビ・農ポリ等）
- ネポン暖房機第1期予約推進（4月～6月）
- 廃プラスチック適正処理推進
- 夏秋蒔用種子推進

生産資材部

花木流通センター

- 売出し・フェアの実施
☆花木流通センター
6月5日(金)～8日(月) 夏のガーデニングフェア
6月3・10・17・24日(水) 水曜日米特売日
☆愛菜館
6月3・10・17・24日(水) 水曜日肉特売日
6月8日(月)・18日(木)・28日(日)
8の日お米特売

- 造園工事推進

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 水稻肥料農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進

農業機械課

- 丸山サンクスキャンペーン（9月末日迄）

生活部

生活課

- 太陽光発電推進（周年）
- メロン推進（6月末日迄）
- Aコープ新茶推進（6月末日迄）
- 「上州もみ切りうどん」・「四季のめん詰合せ」推進
（6月～7月）

葬祭総合課

- 生花利用拡大運動（周年）

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進（周年）
- カクイチ物置・広スペースハウス推進（周年）
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進（周年）

自動車燃料部

石油課

- JA-SS夏のキャンペーン（6月～8月）

ガス課

- 平成27年度ガス器具特別推進
- 平成27年度第一回クミアイガス器具推進



第10回人形・ぬいぐるみ供養祭
(5.6 JAアシストホールたかさき)



コンプライアンス推進全体職員研修会
(5.7 JAビル)

■長年親しんだ 感謝の気持ちを込めて

5月6日(水) JAアシストホールたかさきにおいて「第10回人形・ぬいぐるみ供養祭」が行われ、思い入れのある人形・ぬいぐるみが多数持ち込まれました。壇上に並べられた人形達は、住職による読経のもと丁寧に供養されました。当日は、JAたかさきの高崎そうめん試食会やフラワーアレンジ教室といった催しも同時に開催され、約440名が来場しました。

■一人一人の心がけて より良い職場を

5月7日(木) コンプライアンス推進部は、「コンプライアンス推進全体職員研修会」を開催しました。挨拶に立った須藤本部長は、「全職員が意識の向上に努め、より良い職場作りに励んで欲しい。」と述べました。研修会では、今年度のコンプライアンス推進・リスク管理実施計画について説明が行われ、職場全体の意識統一が図られました。



危険物取扱者(乙4)事前準備コース
(5.21 JAビル)



平成27年産ビール大麦作況調査
(5.22 県内圃場)

■参加者全員の合格を目指して

5月21日(木) 石油課は、危険物取扱者(乙4)試験へ向けた「乙4事前準備コース」を開催し、39名の受験予定者が参加しました。研修会では、危険物の性質や法令、試験に合格するためのポイント等についての講義が行われ、参加者は6月28日に行われる本試験へ向け、熱心に受講していました。なお、6月25(木)・26日(金)には「特訓コース」を開催し、試験直前に万全な対策を講じます。

■ビール大麦 品質向上へ向けて

5月22日(金) 米麦特産課は、本年産ビール大麦の作況調査を実施し、ビール会社等の実需者と県・中央会等の関係者が参加しました。調査では県内6か所の圃場を巡回し、生育工程や予想収穫量等の情報の共有と作柄や品質状況の観察を行いました。各圃場において概ね順調な生育を確認し、本年産ビール大麦の高品質・高収量を期待しました。



平成27年度肥料・農薬基礎研修会
(5.22 JAビル)



JAグループ群馬農産物検査協議会 第9回通常総会
群馬県農協穀類乾燥調製(貯蔵)施設協議会第24回通常総会
(5.27 JAビル)

■今すぐ使える知識を習得

5月22日(金) 肥料農薬課は、「平成27年度肥料・農薬基礎研修会」を開催し、各JAの営農経済渉外担当者・営農指導員・購買担当者等約40名が参加されました。研修会では、肥料と農薬に関する基礎的な知識や、土壌診断表に基づく施肥設計についての説明が行われました。参加者からは、「これからの業務の役に立てたい。」といった声が寄せられ、推進現場ですぐに活かすべく意欲的に受講していました。

■県産米麦 安定供給のために

5月27日(水)「JAグループ群馬農産物検査協議会 第9回通常総会」「群馬県農協穀類乾燥調製(貯蔵)施設協議会第24回通常総会」がそれぞれ開催され、議案は全て可決承認されました。総会後には、第9回運営管理・環境整備コンクールの表彰が行われ、カントリーエレベーターとライスセンターの各部門において優秀な成績を収めたJAに対し、賞状と記念品が授与されました。



平成27年度交通事故防止対策研修会
(5.28 JAビル)



第27回ぐんまこんにゃく祭り
(5.30 らん藤岡)

■事故のない明日のために

5月28日(木) コンプライアンス推進部は、「平成27年度交通事故防止対策研修会」を開催し、当県本部と関連会社の職員約60名が参加しました。当日は、群馬県警察交通部交通機動隊小隊長の新津氏による交通事故の発生原因や予防策についての講習が行われ、参加者は、事故の危険性を再認識し、当事者・加害者・被害者にならないための決意を新たにしました。

■こんにゃくの魅力がつまった1日

5月30日(土)「第27回ぐんまこんにゃく祭り」が開催され、本県の特産物であるこんにゃくの理解と消費拡大を図るべく、試食販売・手作り体験等が行われました。当県本部が事務局を務める群馬県蒟蒻生産協会は、こんにゃくの種芋約100kg(450人分)を無料配布し、行列ができるほどの大盛況となりました。当日は、家庭での種芋の栽培方法やこんにゃくの魅力を多くの来場者へPRしました。

地元FCの応援に！ 両チームに群馬県産白加賀梅ジュースを贈呈

～ 5.31 正田醤油スタジアム群馬 ～

5月31日(日) 群馬県と群馬県共計生梅運営委員会は、正田醤油スタジアム群馬で開催されたサッカーJ2リーグ「ザスパクサツ群馬対ジェフユナイテッド千葉」戦において両チームへ群馬県産白加賀梅ジュースを贈呈しました。会場では梅ジュースの試飲会も行われ、集まったサポ-

ーターを中心とする2000人に群馬の「白加賀梅」をPRしました。群馬は全国2位の梅の生産量を誇り、主品種である白加賀梅は大粒で果肉が厚く、梅酒やジュースに最適な品種です。試飲をした人からは、「とても美味しい。これからの季節にぴったり。」と好評を頂きました。



▲ 同委員会関根会長(中央)と両チームのキャプテン



▲ 試飲会の様子

群馬県産お肉の専門店「肉の駅 玉村宿店」オープン！

～ 5.31 道の駅玉村宿 肉の駅玉村宿店 ～

5月31日(日) 関越自動車道高崎玉村スマートインターチェンジの出入り口に道の駅「玉村宿」が新規開業しました。開業に併せ、同駅内に県内3店舗目となる「肉の駅 玉村宿店」がオープンしました。オープン当日は、群馬県食肉品質向上対策協議会による上州牛と上州豚の無料試食会やJ A高崎ハム(株)商品の販売等各種イベントが

開催され、多くの人で賑わいました。同店舗では玉村町内にある食肉卸売市場から直送した新鮮で安全・安心な食肉の販売と、揚げたてのコロツケやメンチカツなどの手作りお惣菜を提供しています。道の駅の特性を活かし、地域の方や県内外の観光客等、幅広い層からの利用が期待されます。



▲ 貫井玉村町長の挨拶



▲ イベントの様子



▲ 店内の様子

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時 間
地域の特産！ さくらんぼと大根／JA利根沼田	6月29日(月)	PM9:00～9:30
	※7月5日(日)	AM8:00～8:30
まゆと生糸は日本一！ ぐんまの絹産業／JA群馬中央会	7月6日(月)	PM9:00～9:30
	※7月12日(日)	AM8:00～8:30



山部 朱里アナ

群馬県内JA-SS 夏のキャンペーン
合計 1,600名様に
毎月抽選で当たる!!
 期間中、SS店頭にてガソリン・軽油を3,000円以上ご購入の方に毎月抽選で賞品が当たる!

6月 四季のめん詰合せ (500名様)
7月 フリップス ノンフライヤー プラス (100名様)
8月 ネピアBOXティッシュ 5箱 (1000名様)

さらにチャンスBIGは北陸の旅が抽選で当たる!!
 北陸新幹線で行こう!!
金沢へ泊泊券
10組 20名様
 (抽選代を要する。抽選は9月下旬に10月抽選と併せて実施。抽選結果は抽選結果発表ページに掲載。抽選の抽選と抽選はありませぬ。)

応募方法など詳しくは店頭備え付けの応募用紙またはキャンペーン参加のJA-SSまでお問い合わせください。
 応募用紙に必要事項をご記入の上該当月にお買い上げのレシートを抽選日までにSS店頭の応募箱にご投函ください。

※一部キャンペーンを実施していないSSもございますのでご注意ください。※当キャンペーンは景品表に基づいて実施しております。※厳正な抽選の上、ご応募して頂いた月の翌月下旬頃抽選結果を店頭にて発表致します。※ご当選者は抽選の権利を他方へ譲渡あるいは換金することはできません。※写真はイメージです。※賞品は店頭でのお引き渡しとなります。※ホテルのご利用日は指定日となります。

応募用紙に領収書を貼付してください。たくさんのご応募お待ちしております!!

応募方法	応募賞品	抽選日
6月分レシート	四季のめん詰合せ	7月3日
7月分レシート	フリップス ノンフライヤー プラス	8月3日
8月分レシート	ネピアBOXティッシュ	9月3日

夏の特別推進
 消費拡大推進期間 **2015年7月~**

蒟蒻詰合せセット
Aセット
甘味セット
特別セット

お問い合わせ先 **JA全農ぐんま 米麦特産課**
TEL 027-220-2251

ご希望の商品の都合により、パッケージ・品名・量目等がかわることがありますので、ご了承下さい。

ご注文はJA・全農へ

AGRI MACHINE FAIR 2015

アグリマシンフェア2015
 魅力とやりがいのある群馬の農業生産振興を目指して...

7.18日 7.19日
 雨天決行 **AM9:00 ▶ PM4:00**

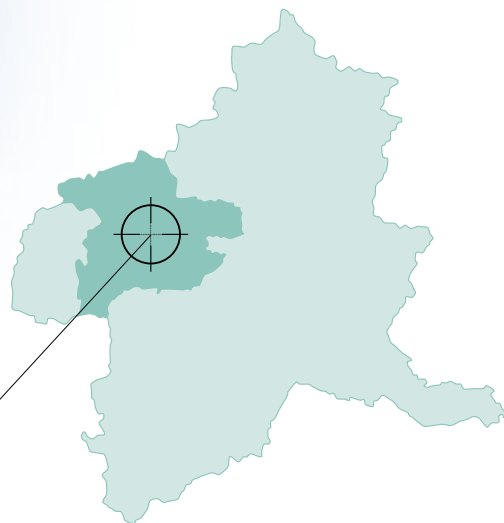
主催 JA・JA全農ぐんま
お問い合わせ JA全農ぐんま 農業機械課 **TEL.027(220)2312**

ご案内図
第39回 農業機械大展示即売会
同時開催 JA全農ぐんま 自動車展示会

会場: 北関東自動車道 前橋南IC 前橋市 前橋市立総合体育館
 会場: 前橋市立総合体育館
 会場: 前橋市立総合体育館

農業 チャレンジャー

JAあがつま



父の想いを受け継ぎ 情熱を持って前進

JAあがつま管内 高橋 治展 さん



高橋 治展

(たかはし・はるのぶ) さん

1993年生まれ、21歳。

JAあがつま青年部

東吾妻町

「昭和のくるまを愛する会」所属

栽培面積：1.2ha

趣味：スキー・機械いじり

先進的な農家研修で得たもの

今回のチャレンジャーは、JAあがつま管内でこんにゃくの生産を行う高橋さんです。「やはり農家の長男として、家業である農家を継ぐという使命がありました。」と話す高橋さんは、高校を卒業後、昭和村のこんにゃく農家で2年間研修を受けました。当時について、「研修先のお宅は、積極的に機械を導入し、こんにゃくに対して良いことはどんどん実践していく先進的なモデル農家でした。そんな合理的な栽培環境の中で学んだ経験は、貴重な財産です。また、研修では農業技術だけでなく、仕事に対する意気込みや姿勢も学び、それが今の自分の糧となっています。」と話してくれました。尊敬していたお父様が他界し、以来父の面影を胸に作業を行っている高橋さん。研修で得た熱い思いを持ち、立ち止まることなく進みます。

新品種栽培へ込めた思い

高橋さんが生産しているのは、「みやままさり」という新品種です。「従来の品種を手掛けていた父

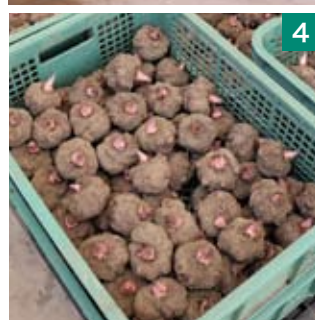
が、晩年作っていたのがこの『みやままさり』です。まだ作っている人が少なく、手探りな部分もある品種なので、新規就農で栽培するのはかなり難しいです。しかし父の志を継いで、いずれ必ず納得のいく物を作りたいと思っています。」と高橋さん。また、掘り取りの忙しい時期などを除き基本的に一人で作業を行っているそうですが、10年、20年後のことを考え、今から若手の人出を確保することも重要な課題だと話します。

感謝の気持ちを忘れず

高橋さんに現在の思いと今後の展望を伺うと、「周囲の人々が自分を信用し、支えてくれるので本当にありがたいです。こんにゃく栽培の基礎や姿勢を教えてくれた研修先の農家さんや、いつもお世話になっている周りの方々への感謝の気持ちを常に忘れず、これからも仕事に励んでいきたいです。」と力強く話してくれました。

お父様への想いと感謝の気持ちを胸に前進し続ける高橋さん。

情熱的で真っ直ぐな眼差しに、今後一層の活躍が期待されます。



1 「父は目標であり、いつかは超えたい存在。」と話す高橋さん。

2 機械での植え付け作業。農機具や車など機械いじりが好きだそうです、「こんなにやく作りに限りはありませんが、機械の修理には明確なゴールがあるので癒されます。」と話します。

3 ずらっと並ぶ植え付け前のこんにゃく芋。

4 種芋はひとつひとつ出来を確認し、規格を揃えます。

畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は5月25日に4月の牛乳乳製品統計を公表した。4月生乳生産量は62万5,011tで前年に比べ0.3%減少した。北海道は31万8,357t(前年同月比0.8%増)で生産量の全国シェアは50.9%となった。

都府県の生産量は30万6,654tとなり、前年同月比で1.4%減少した。

■販売及び乳製品情勢

4月の用途別処理量は、牛乳等向けが32万2,457t(前年同月比2.7%増)、乳製品向けが29万7,955t(〃3.3%減)となった。

飲用牛乳等生産量は28万1,829kl(〃0.2%増)で前月から0.4ポイント増加し、内牛乳が24万5,393kl(〃1%増)、また乳飲料は10万7,199kl(〃0.7%減)で前月より3.6ポイント増加した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳生産量	全国	625,011					
	群馬(委託実績)	18,539					
	本会(委託実績)	5,955					
用途別処理量	飲用牛乳等向け	322,457					
	乳製品向け	297,955					
	その他向け	4,599					
前年対比	生乳生産量(全国)	99.7					
	〃(群馬)	98.5					
	〃(本会)	96.1					
	飲用牛乳等向け	102.7					
	乳製品向け	96.7					
10月		11月	12月	1月	2月	3月	計
							625,011
							18,539
							5,955
							322,457
							297,955
							4,599
							99.7
							98.5
							96.1
							102.7
							96.7

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(6月予想) 牛肉はもちあい。消費に陰りはなく生産量も前年並みの見込み。

肉牛枝肉相場(予想)

・和牛去勢A5	2,530円中心	・和牛去勢A3	2,130円中心	・交雑去勢B3	1,650円中心
・和牛去勢A4	2,280円中心	・和牛去勢A2	1,810円中心	・交雑去勢B2	1,600円中心
		・交雑去勢B5	2,140円中心	・乳牛去勢B2	1,100円中心
		・交雑去勢B4	1,840円中心		

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛 去勢 A4	26年-27年	1,899	1,914	1,893	1,862	1,959	2,006	2,129	2,166	2,163	2,297	2,288	2,257	2,069
	27年-28年	2,283	2,349											2,316
	前年格差	384	435											247
和牛 去勢 A3	26年-27年	1,669	1,664	1,658	1,662	1,726	1,797	1,988	2,019	1,933	2,059	2,079	2,055	1,859
	27年-28年	2,098	2,132											2,115
	前年格差	429	468											256
和牛 去勢 A2	26年-27年	1,516	1,492	1,486	1,455	1,532	1,663	1,757	1,863	1,648	1,819	2,000	1,828	1,672
	27年-28年	2,026	1,848											1,937
	前年格差	510	356											265

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
26年-27年		1,291	1,098	1,104	1,262	1,068	1,216	1,232	1,465	1,385	1,005	1,091	1,012	14,229
27年-28年		1,085	946											2,031
前年格差		▲ 206	▲ 152											▲ 12,198
全国 と畜 頭数	25年-26年	103,062	95,418	90,357	104,661	91,687	93,321	104,050	117,198	113,212	86,606	85,968	91,771	1,177,311
	26年-27年	99,464	91,001	90,327	102,267	88,474	95,800	105,092	110,615	109,345	85,310	85,824	92,201	1,155,720
	27年-28年	95,755												95,755
	前年比	96.3												98.2

■素牛動向

①和牛子牛	(去勢) 690千円平均 (前月比101%)	(雌) 603千円平均 (前月比101%)
②F1価格	(去勢) 250~300kg 1,326円/kg平均	(雌) 250~300kg 1,212円/kg平均
③全農・取引基準価格(乳去)	260~300kg 604円/kg平均 (前月比108%)	

養豚情勢

枝肉相場関係

株群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

※平成25年4月より相対を含む。（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
25年-26年(A)		450	499	485	498	507	499	466	477	521	458	467	496	485
26年-27年(B)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547	588	565	569
27年-28年(C)		569	535											552
(B-A)		103	83	136	82	41	49	51	92	88	89	121	69	84
(C-B)		16	▲47											▲17

豚肉価格形成要因

株群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	26-27年	44,690	39,069	36,628	39,821	35,032	40,542	44,979	36,865	41,060	39,158	37,138	39,152	474,134
	27-28年	41,752	37,407											79,159
前年比(%)		93.4	95.7											16.7

肉豚生産出荷予測（全国） ※4月まで実績／5月以降の出荷予測は

5月18日付けで農水省畜産部食肉鶏卵課が発表

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	10~12月	1月	2月	3月	1~3月	4月	5月	6月	4~6月	7月	8月	9月	7~9月
全国出荷予測頭数(千頭)		4,187	1,349	1,282	1,375	4,006	1,372	1,286	1,256	3,914	1,273	1,263	1,317	3,853
前年同月比(%)		91	93	96	100	96	99	98	101	99	95	103	99	99

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、6月の出荷見込頭数は1,256千頭(前年同月比101%)となっている。その後は7月1,273千頭(〃95%)、8月1,263千頭(〃103%)と予想されている。豚肉相場は、小幅に上がる見込み。ただ、食肉卸には1kg550円を境に輸入物にシフトする動きもあり、国産の大幅な上げは見込みにくい。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

平成27年4月225円(見込み) 101%(前年比)

（単位：円）

価格の推移

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
26年-27年(A)		223	204	199	190	192	231	240	242	248	192	209	219	216
27年-28年(B)		227	230											229
(B-A)		4	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
全国基金	26-27年	0	0	0	2,088	0	0	0	0	0	2,907	0	0	
補填	27-28年	0	0											

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：5月の平均単価は230円(前年同月+26円)と前年同月を上回り、平成26年6月～平成27年5月期平均は218円(前年同期比+3円)であった。

■出荷動向：気候が温暖で産卵量が増え、5月の大型連休中に生産調整していた産卵鶏の回復で、サイズ間の供給も安定する見込み。

■需要動向：梅雨に入り、消費は減退する見込み。ただ、小玉サイズを中心としたスーパーの特売需要や相場の先高観で加工向けが動き、価格の下支えとなる見込み。需要は弱まり、価格は小幅に下げる見込み。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入実績(t)	25-26年	2,283	2,151	1,776	2,084	2,488	1,867	2,201	2,451	2,631	3,060	2,845	2,688	28,525
	26-27年	2,286	2,314	2,393	2,427	2,137	1,974	2,273	1,877	2,192	2,067	2,542	2,231	26,713
前年比(%)		100.2	107.6	134.8	116.5	85.9	105.7	103.3	76.6	83.3	67.3	89.4	83.0	93.6
餌付羽数(千羽)	26-27年	8,205	8,291	8,405	8,408	7,048	8,622	8,071	7,369	8,295	7,941	7,764	8,734	97,153
	27-28年	7,872												7,872
前年比(%)		95.9												8.1

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 23年:188円
(1) 17年:204円 (4) 20年:193円 (8) 24年:181円
(2) 18年:184円 (5) 21年:175円 (9) 25年:207円
(3) 19年:169円 (6) 22年:194円 (10) 26年:216円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

5月12日の米国農務省需給見通しによると、米国とうもろこしの2014/15年度産における単収、期首在庫および供給量はそれぞれ171.0ブッシェル/エーカー、1,232百万ブッシェルおよび15,472百万ブッシェルと前月発表から据置かれた。需要量については、輸出向けで若干の増加があったものの、工業・種子用需要の減少が増加分を上回り、23百万ブッシェル下方修正された。期末在庫率は13.59%と見通され、前月発表の13.39%から上方修正された。

シカゴ定期は、米国の産地では作付けが順調に進捗しており、また発芽時期に適度な雨が降るなど、ほぼ理想的な状況となっており、直近の7月限は360セント/ブッシェル半ばで推移している。

②大豆粕

5月12日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2014/15年度産について、供給量は前月発表と変化がなく、4,091百万ブッシェルとなった。需要量は、搾油需要と輸出需要の増加により20百万ブッシェル増加し、

3,741百万ブッシェルとなった。単収については、前回発表から変化はなく47.8ブッシェル/エーカーとなった。結果として、期末在庫は20百万ブッシェル減の350百万ブッシェルと見通され、在庫率も9.36%と前月の9.94%から減少した。

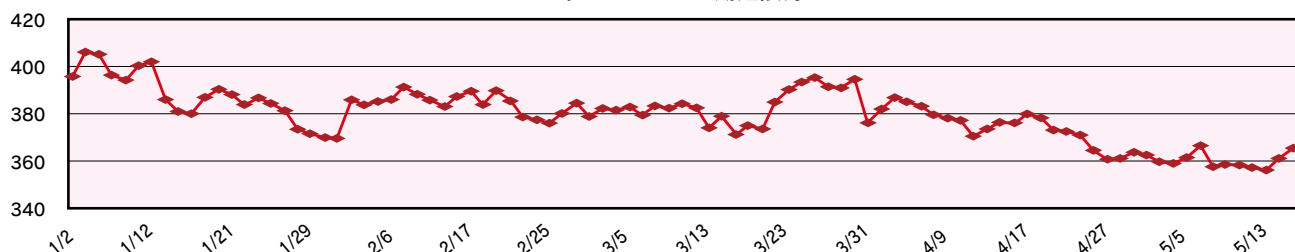
大豆粕のシカゴ定期は、アルゼンチンのストライキ懸念や、ドル安の進行等により、続伸していたが、ブラジルの生産見通しの引き上げ、米国の鳥インフルエンザ拡大に伴う飼料需要の減少見通しから、軟調な傾向である。現在、5月限は300ドル/ショートトン前後で推移している。今後のシカゴ定期は、作付期を迎えた米国の天候、および消費国の需要動向に影響されながら推移すると見込まれる。

■海上運賃

米国ガルフ～日本間のパナマックス型運賃は、原油価格は横ばいで推移しているものの、一時引き締まっていた南米の船腹需給が緩和していることから、直近については軟調に推移している。

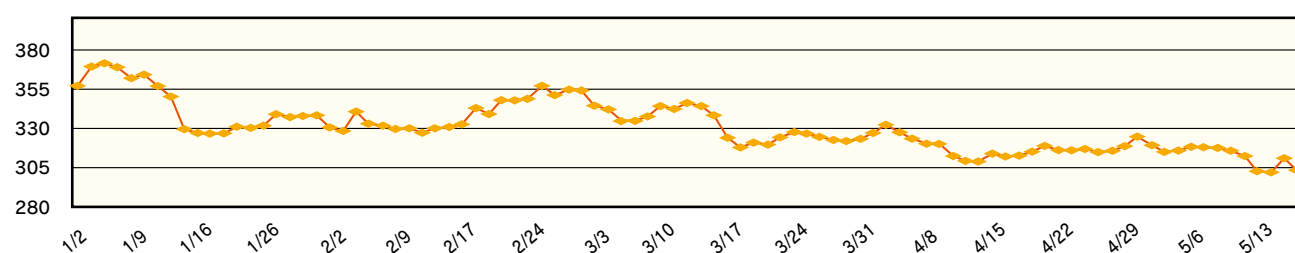
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



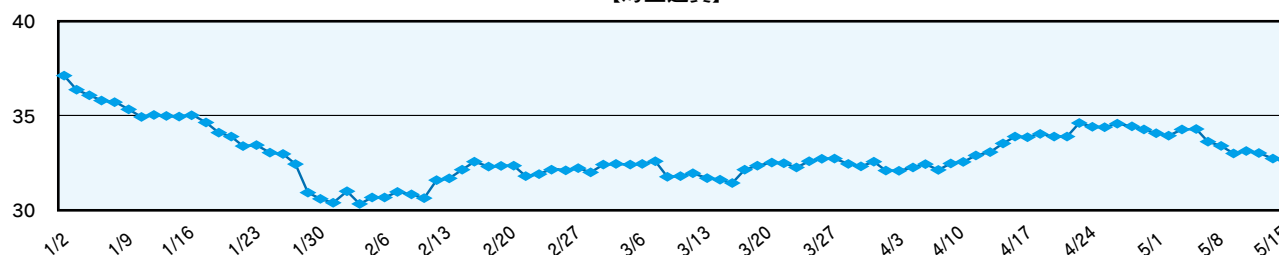
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！



今月のふらわーらんの店内は、観葉植物で埋め尽くされています。手軽に育てられ、インテリアとして人気の観葉植物。水やり・日光・温度に注意すればみるみるうちに大きくなり、室内の空気をきれいにしてくれます。この夏、観葉植物を育ててみてはいかがでしょうか。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

7月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください！

開催日	内 容
7月3日(金) ～7月6日(月)	夏の食卓フェア
7月16日(木) 10:00～ 14:00～	花の寄せ植え講習会 (各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先：ふらわーらんど】
7月19日(日) 10:00～	花の寄せ植え講習会 【参加費・申込み方法等 問合せ先：ふらわーらんど】

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。



花と緑あふれる広場
KABOKU
花木流通センター

営業時間：年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～9月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

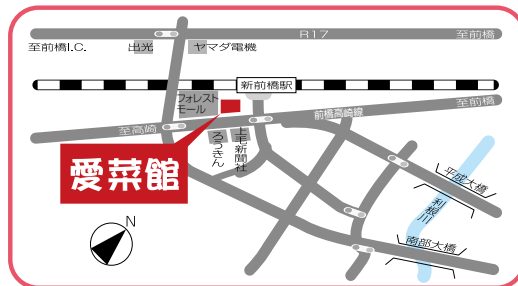
やさいひろば
JA直販

愛菜館

営業時間：毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番
「県本部通信」係まで

E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



ポークソテーの ジェノベーゼおろしかけ

材 料

2人分 (1人分360kcal)

豚ロース……………160g
塩・コショウ……………各少量
大根……………200g
A (ジェノベーゼ……………大さじ1
レモン汁……………大さじ1
塩・コショウ……………適量
ミニトマト……………5個
イタリアンパセリ……………適量
オリーブオイル……………大さじ1

作り方

- 1 豚ロースに軽く塩・コショウをふる。
- 2 大根は洗って皮つきのまますりおろす。ここへAを加え混ぜる。
- 3 ミニトマトは粗いみじん切りにし、イタリアンパセリもみじん切りにする。
- 4 フライパンにオリーブオイルを熱し、1の肉を両面焼く。
- 5 4の肉をお皿に盛り、3の刻んだミニトマトとパセリをちらして、2のジェノベーゼおろしを中心にかける。